

元原発技術者 原発復帰ノ

岡山・津山市

(学習塾経営 72歳)

東京電力福島第一原発事故の発生から12年の月日が流れた。年月の経過とともに事故のことが報道されることも少なくな

て進んでいない。放射性廃棄物の処分場すら未定という状況で、原発の再稼働や建て替えはあまりにも無謀に思える。

私は、若いころ関西電力高浜原発の設計の仕事に携わっていたこともあって、政府の軽々しいとさえ思える新方針には大いに疑問を感じている。

しかし、依然として放射能で汚染された広大な区域が残り、避難生活を余儀なくされている人たちがいることに目を向け、心を寄せ合い、共に考える姿勢が必要ではないかと思う。

あの事故は福島だけではなく、私たち自身の問題でもある。原発への依存度を低減すると言っていた政府は一転、「最大限活用」と、原発復帰の方針を決めてしまった。

事故後の核燃料デブリの取り出しは困難を極め、廃炉作業は遅々とし